叫んでいいとも！

シリーズ・私の提言

このスペースは、社会や地域への思いを自由に述べて頂けるよう読者の皆さんに開放しています。

心痛む東日本大震災

今こそ奉仕の輪を広げよう

今月の提言者　村上生長（むらかみせいちょう）さん(65)（磯路）

◆甦った阪神大震災

東日本大震災を受けて、少しは薄らぎかけていた阪神大震災の記憶が甦りました。早朝、地面から突き上げるような揺れに「何事が起きたのか！」と仰天。家族の無事は確認できましたが、停電し、電話も不通。私は市岡下水処理場に勤務していて、当日は非番でしたが、職場のことが気になり、家内に意向を告げて職場に向かいました。

幸い夜勤の人に怪我はありませんでしたが監視パネルは全面赤ランプで異常を知らせていました。手分けして各部署の復旧に取り組み、一カ所また一カ所と警報を解除していきました。

そうして後日、ボランティアとして大阪港から友人達と神戸へ向かったのです。

◆心強く持ち頑張って

それにしても、余りにひどい今回の被災地の状況に心が痛みます。巨大地震に巨大津波、加えて原子力発電所の崩壊と放射能漏れ、そこへ雪や寒波、さらには農作物の放射能汚染―。なぜこんな悪いことばかり起こるのかと神様に問いたい気持ちです。被災地の人々には、とにかく心を強く持って頑張ってほしいと祈るばかりです。

◆人間の力は凄い！

しかし、あの阪神大震災の時と同様、この度の震災でも「人間の力は凄い！」と感心しました。生き抜くための一人ひとりの頑張りだけでなく、お互いが助け合い、励まし合い、中には身の危険を顧みず救助活動を行なう人、住居を失ったり身内を亡くしたりしながらも避難所でのボランティア活動を進んで行なう人―等々、本当に頭が下がります。私も仕事がなければ今すぐ現地へ飛んでボランティア活動に加わりたい気持ちで、居ても立ってもいられないほどです。

◆科学を人命尊重に

また、今回の事故を踏まえて原子力発電も色んな見直しが行なわれると思いますが、何より人命尊重のためにこそ、発達した科学技術を生かしてほしいと願います。特に放射能測定や原子炉冷却など危険を伴う作業に活躍できるロボットの開発を期待します。

◆思いや行動を集めて

今、遠くにいて私たちができることは、義援金を集めること、支援物資を届けること、買い占めをしないことなどしかありません。が、こうした一人ひとりの思いや行動が集まり、大きくなって、困っている方の心を少しずつ温めてあげられると確信しています。

◆献血など出来る事を

因みに私は四国出身で、子供の頃から目や耳が不自由なため、学校生活などで辛い面もありましたが、集団就職で上阪した十八歳の頃、健康保険証をもらって手術をし、治してもらいました。障害者の方が大勢おられる中で本当に幸いな事だったと感謝しています。

そのお返しにと私は若い頃からボランティア活動を心がけ、その一つとして献血を続けています。皆さんも今回の大震災を機に、出来る方は声を掛け合い、被災地支援や献血など、奉仕活動の輪を広げて頂ければ、大変嬉しく思います。

春闘の意気を被災地へ

全港湾など支援活動に全力

労働者の全国的な要求運動である「春闘」が今年も山場に入り、港区でも様々な労働組合が闘争を続けています。このうち港湾労働運動のセンターとして三十年以上活動してきた全港湾大阪支部（築港1）では、企業側の厳しい回答に改めて結束を固めると共に、東日本大震災被災地への支援に全力を注いでいます。

◆港湾民営化に反対

同支部では一月から討論を重ね、二月十七日の中央委員会決議をもとに、①基本給一律一万円引き上げを実現しよう②競争を激化させ港湾運営と雇用の不安定化を招く港湾民営化と港湾法改正に反対しよう③労働条件悪化をもたらした港湾料金の届け出制を元の認可料金制度に戻させよう④国の責任で石綿被害への補償制度を確立させよう―などの闘争方針を打ち出し、これに基づいて経営者連合に要求を提示。三月二十四日に一斉回答がありました。

しかし、東日本大震災の影響で業績に見通しがつかない企業も多く、概ね厳しい回答となりました。

同支部では要求闘争を継続すると共に、大震災に対しては中央対策本部のもと津波被害を受けた塩釜など現地組合員の安否確認や支援活動に全力を傾注。既に震災発生直後に関西地本から義援金一千万円が送られ、大阪支部でも独自に募金活動が行われています。

「春闘のエネルギーを被災地へ」と集会などを自粛して被災地労働者への支援に力を注ぐ港湾労働者（写真は昨年の春闘集会）

◆震災受け闘争調整

一方、港区を中心とする中小企業労働組合の集まりである全国金属機械労働組合「港合同」は統一賃上げ要求を「二万円」と設定。三月十日に一斉に要求を提出、二十二日には経営側から一斉回答がありました。

しかし、「原材料が届かない」「製品を届けられない」など東日本大震災の影響を受けて業績を見通せない企業が多く、こうした状況を踏まえて港合同では「企業への協力・支援」も含めた闘争内容の調整を模索すると共に、被災地への支援活動にも取り組んでいます。

【1面のつづき】

港区子ども会育成連合会が募金を行ない、三万七千円が集まりました。

「平和と福祉」を掲げるNPO**みなと**（南市岡）は地震発生後すぐ会員に義援金を呼びかけ、集まった約九万五千円を三月二十三日、日本赤十字社に託しました。

★中学・小学校で

港中学校では三月十五～二十四日の登校時に生徒会役員が支援活動。十八日には会長、副会長ら七人が「協力お願いしま～す」と声を上げました。会長らは「役員の一人から提案があり、『ちょっとでも被災地の助けに』と始めました。通行人の方に入れて頂いた時は私たちの声が届いたのかと嬉しくなりました」と話していました。

港中学校正門前で義援金を呼びかける生徒会役員と応じる通行人＝3月18日

市岡中学校では三月十四日の登校時に生徒会役員が支援活動。二十二日には横山愛咲美会長、尾原葵副会長、朝田麻友会計ら四人が「義援金お願いしま～す」と声を上げました。横山会長らは「道行くおばさんから『頑張って』と声をかけてもらい、『もっと頑張ろう』という気になりました」「『食料や薬が早く被災地に届いてほしい』」「原発事故の報道で周辺の人たちが影響や差別を受けるのが心配」などと話していました。

市岡中学校正門前で義援金を呼びかける生徒会役員と応じる生徒ら＝3月22日

港南中学校では三月十七～二十三日の登校時に生徒会役員が支援活動。二十三日には中野月夜会長、北島広夢副会長ら六人が「震災の救済お願いしま～す」と声を上げました。お金を入れた村上幸太郎君は「テレビはあまり観ないので親の話から想像するしかありませんが、被災地の本当の様子がよく分からずとても心配です」。中野会長らは「食料不足や原発の放射能、家や町の復旧、避難所生活がいつまで続くのかなどが気になります」「東京で避難所生活をした父が、被災地の人たちはもっと悲惨やろと心配していました」などと話していました。

港南中学校正門前で義援金を呼びかける生徒会役員と応じる生徒＝3月23日

磯路小学校では三月二十三、二十四日の登校時に児童会当番が支援活動。二十四日には五年生二人、四年生二人が「東日本大震災の募金にご協力お願いしま～す」と声を上げました。当番児童は「いっぱいお金を入れてくれて嬉しかった」「人がたくさん亡くなられて可哀想」「津波はとても怖いと思った」。前田都陽子校長は「児童と先生が『何か出来ることを』『防災学習で学んだことを生かそう』と相談して始めました」と話していました。募金額は二万二千七十円にのぼり、港区役所を通じて被災地へ届けられました。

磯路小学校で義援金を呼びかける児童会当番と応じる児童ら＝3月24日

◇

遠隔の被災地に思いを寄せながら、区内各地でなお続けられる支援活動。被災住民の忍耐強さや優しさ、賢さ、謙虚さ、協調性や規律性が国内外の驚嘆と称賛を呼んでいますが、港区民の優しさ、熱さもまた感動的です。歴史的な救国運動はまだ続きます。

がんばれ東日本！

がんばれ港区民！

出版のことなら
社史・記念誌・企業PR誌・自伝・詩歌集
お気軽にご相談ください
地元の出版社
JDC出版　TEL6581-2811　FAX6581-2670　港区波除6丁目5-5

融資・国保のことなら…1人で悩まず
港民主商工会
労働保険は事務組合へ
港区夕凪2-10-16 ☎6572-7867

駐車場月極募集中
¥18,900（税込）車種により多少異なります
★24時間入出庫可★屋内につき安心
★敷金は1ヶ月分★車庫証明発行可
一時預り大歓迎！
100円/20分
昼間最大1,000円（8:00~20:00）
24時間最大1,800円
カービレッジ216
港区磯路2丁目1-4
<営業>AM8時～PM8時
☎6577-8731
中央大通り　43号線（九条・境川方面）　みなと通り　港郵便局　大和医院　ゆめホーム　オリーブ　ココ　市岡中　りそな銀　（朝潮橋方面）

勉強会・打ち上げ・会食・お泊まり-等々
あらゆる集まりは地元の
経営開発研修センターで
会議室5（72名、45名、16名、24名、10名）個室50（各室バス・WC・TV付）一泊朝食付5,000円
歓迎会・各種宴会ご予約承り中！
昼食レストランも大好評！
三井住友銀行　みなと通り　至大阪港　至境川　河村病院　交番　港南中学　UFJ銀
三先1丁目6-3（港南中学校向かい）　☎6574-5701
http://www.keieikaihatu.co.jp　mail:kenshu@keieikaihatu.co.jp